# 第17回サバニ帆漕レース説明会　　議事録（要約）

2016年4月25日（月）19：00～21：00　於：那覇商工会議所

実行委員会；中村産業振興課課長、山城翔太（座間味村役場／産業振興課）

　　　　　　斎藤慎也（座間味村観光協会）、三田（座間味村役場／産業振興課）

　　　　　　添畑薫、塩澤朋子（東京広報＝フォトウエーブ）（敬称略）

参加チーム：２６チーム、３１名

開会挨拶…中村座間味村村役場産業振興課課長

進行………山城将太（座間味村役場産業振興課）

配布した参加申込書を元に進行。

＊参加申込書に記念T－シャツのサイズの記入欄を設けた件。

残念ながら、現時点では製作の日程とうまくかみ合わないので、あくまでも次年度に向けての参考としてする。しかしながら、今年のサイズ分けの際には、なるべく皆様のご意向に合わせていくように努力する。

この懸案から、来年度から説明会の日程を3月中に開催したらとの意見もある。

＊セイルエリアについて。弥帆（ヤホ）について。

提出書類、申し込み用紙の2枚目のセイルサイズ、艇の全長についての記入にあたっての説明。

ヤホについてはルールブックにも記載してあり、認められている。その場合、メインの帆との合計と、1枚の帆で走る艇との公平を図るため、定められた面積内での使用でなければならない。

２枚の帆の合計面積が５m×３，５m以内であること。

弥帆（ヤホ）を使用する参加艇はその旨必ず記載すること。

\*ルール違反について。

記録写真などを見ると、明らかにセイルエリアの面積がオーバーしているという事例が見受けられる。海上あるいはビーチでのインスペクションで、帆を挙げてのインスペクションというのが一番いいのだろうが、そういう煩雑なことを避けるためにも、それぞれのチームからルールに則って違反をしていないという宣誓書を事前にいただいてお互いの信頼関係で成り立っている筈。

しかしながらルール違反を犯しているチームが後を絶たない。公平でなるべく同じ条件でレースを楽しむ大会を続けていくためにも、お互いに気を付けていきましょう。今後、明らかなルール違反が見つかった場合には失格も含めたペナルティを与えるという見解がある。

セイル以外でも、バックステイ、マストを補強するなど、中には目に余るものもある。

レース本番で気が付けばいいのですが、大抵の場合後で気が付くことに。

この大会は、紳士協定（ジェントルマンアグリーメント）に基づいて、みんなで気を付けあいながら守っていきましょう。

異議なし（拍手）

\*マリリンカップ

前日に開かれる島内ファンレース、マリリンカップ。昨年度まではぎりぎりまでの応募で、自由参加に近いものでしたが、年々出場者の数が増え整理が追い付かない状態になってきました。

そこで、事前にエントリー数など把握しておきたいので、マリリンカップ用の参加申し込み用紙を用意し、ホームページにアップしますので、参加希望の方は期間中に応募してください。

（この件は後に従来の申込用紙の中に、その欄を設けました）

応募締め切りは本レースと同様で、6月3日（金）までです。

＊申し込み関係書類の⑥番、宣誓書の中にルールブック最新版が2015となっているのは誤りで、2014年度版が最新です。それぞれに修正をかけてください。

\*出艇料の件、チームとして1万円、選手は一人につき3,000円、保険料、パーティ代、Tシャツ代などが含まれています。

事務局としては、可能な限り郵貯の振込口座の方にお振込いただければ助かりますとのこと、ご協力よろしくお願いいたします。

＊資料にある座間味港の説明。伴奏艇の停泊する場所を指定してありますので、

そちらに泊めていただきますようお願い申しあげます。

＊船台の件。車輪が壊れているものなどが多くみられるので、今一度、自分たちの艇を載せる船台の保守確認をしていただきたい。

＊サポート艇、伴走艇の船長へのお願いなどが、列記してあるページについて説明。くれぐれも他レース艇の邪魔にならないように、また進路には入らないでください。自分のチーム艇を伴走しているときは周囲の状況に注意し、他のチームのレース艇に引き波が当たらないように気を付けてくださいなど、伴走艇の船長さんにこの書類などお見せして、理解してもらってください。

＊6月の船舶運航ダイヤについて。

混雑が予想されますので、宿の手配も同様、早めの予約をお勧めします。

＊この4月に起きた九州北部及び熊本大震災。今大会の表彰式会場や前夜祭などで募金ボックスを設けますので、皆様にもご協力いただきたいと思います。

賛成の場合は拍手をお願いします。

前回までは参加料の中に含めて、お振込いただき東北大震災のために寄付いたしました。今回は任意です。

＊サバニ帆漕レースの公式掲示板を観光協会のところに設けたらどうか。

緊急の課題やお知らせ、気象状況などお伝えしなければならないことが必ずあるはずです。本来は大会が近づく数日前から、来島したら一度は必ず観光協会に立ち寄ってチェックできるようにしたい。実際には6月24日ごろから掲示するようにします。

＊うみそら公園の件。

那覇沖でフィニッシュ後、「うみそら公園」に入っていただきたいと思います。

以前は三重城からサバニ艇をあげてましたが、クレーン車を用意しまして、あそこから直接台車の方に船を引き上げる方法を考えています。

那覇までわたるコースは天候の関係で、ここ3回ほど実現できていませんが、家族やお友達が応援に駆け付け、陸から出迎えができる「うみそら公園」を使用したいと思ます。

小さい湾の中の池（湾ど）というのでしょうか、あの中を入賞者にセイルを挙げてウイニングランをしていただきたいと思います。

＊マストの件。

ヒノキのマスト共同購入の件について、お話しします。

昨年に引き続き、皆さんのご要望が多いので、行いたいと思っています。

ただし、運送代その他で30万以上はかかってしまます。それは実行委員会で賄いますが、皆さんには森林組合から切り出してもらう手間賃などの金額、多分一本につき8千円ぐらいだと思いますが負担してもらいたいです。

\*より速く走りたい・・・マストを強化するための細工は・・・

後ろに張る一本のロープなどで、マストを強く保持するために補強すること。ヨットでいうところのバックステイですが、古来のサバニではこういうことはしていなかったので、禁止しています。

しかしながら、もっと速く走りたいという欲求は誰にもあるわけですから、セールエリア（帆の大きさ）を精一杯大きくする、フルに広げて走った場合、杉のマストではもたない。ヒノキのマストですと、強度が3割がた上がります。

昨年も、20本ほど共同購入をしましたが、なかなかの成果を上げていると聞いております。

昨年申し込んであるにもかかわらず、手元に届かなかったチームもあったたみたいですが、口頭では後々問題が起きますので、購入申し込みの用紙をホームページに発表しますのでFAXなどで申し込んでください。

今ここで、すぐに申し込みたい方は仮にですが、チーム名、必要本数、連絡先など紙に書いて、この会が終了後、前方に来て仮申し込みに来てください。

＊エントリー名、（チーム名、船名、艇名）表示のお願い

海上でのフィニッシュ時、近年接戦が多くなってきて、艇が重なる場合が、ままあります。本部船から複数の人員が見ても、番号を読み違えることもあります。過去には数回、それで順位の入れ替えがありました。

実行委員会としても、参加者に対して大変失礼なことだと思っています。

このミスを無くすためにも、エントリー名を船に表示して頂きたいのです。

今既に入っている方は結構です。その代り申し込むとき、その旨明記してください。

例：船名は＊＊＊＊ですがエントリー名はｘｘｘｘですと。

必ずしも、船名イコールチーム名ではなく、船を借りて出場するチームもいます。

成績表はエントリー名で出すので、運営側としてはエントリー名を船に表示していただくのが一番有り難いのです。

今入ってない船、入れ替えることが可能な船に関しては、是非、艇の前の方に

１５㎝×４０㎝くらいの板にエントリー名を書いて取りつけてください。

＊参加者からの意見

フウバシラ（マスト）とヒイザキ（船首の先端部分）の間に板を立ててその両側に名前を入れる。そうすればどちらからも見ても確認はできるのではと思います。

こういった方法でもいいですか？

（この参加者のサバニ艇は船首までのところにきれいなグラフィックがデザインされていてそれを隠したくないという意向から、外から見て分かればいいのではという意見です）

運営側では、外から見て分かればよいという見解です。反対意見がある人は…？会場からは反対意見なし。了承していただける場合は拍手をいただけますか？、会場満場一致で拍手。

糸満の船は船に既に名前が付いている場合が多く、またチーム名とは違うことが多いという。そういう場合は必ず、申込用紙に解かりやすく両方書いてください。（運営側からのお願いです）

＊再度、T-シャツについて。

参加申込書のTシャツのサイズを書く件ですが、先ほど申し上げましたように、今回にぴったりと反映できませんが、仕分けする際の大きな参考にします。

少し事情を説明させてください。

毎年、600枚から800枚製作します。通常の製作日数では、デザイン起こしから初めて2か月から2か月半かかります。

申し込み締め切りは6月初旬ですからその時点では、おのずからぴったりのサイズを充てることは不可能です。

仮に、来年から３月に説明会を開催したとして、その時点でサイズを申告された方々には、ご要望通りのサイズをお渡しできます。エントリーを６月ぎりぎりまで決められないチームもあるかと思います。その場合はある物の中から近いサイズをお渡しすることになります。

冒頭にも言ったように、なるべく皆さんのご意向に添えられるように参考にしたいと思いますので、是非申告してください。ただし、ご要望に応えられない場合もありますので、ご理解のほどお願いいしたいと思います。

＊フェリーの件

参加者から。

レース2か月前なのに、すでに座間味島にわたる高速船（クイーンザマミ）が満席になってしまう。通常のフェリー（フェリーザマミ）も時間の問題でしょう。

普通のお客さまもいるわけですから、予約の電話もつながりにくい。それではマリリンカップも出られないかもしれない。フェリーの予約も危ないというのでは、みんなが参加できるということに影響が出てくるのでは。

来年からでも、実行委員会で、クイーン100名分とか200名分とかブロックして欲しいんですよ。

フェリーについては明日からでも、委員会で何席かブロックして確保してもらって、フェリーでも行きたい人は委員会に申し込みすればいいという仕組みにしてもらえば、大勢の人が一斉に予約の電話を掛けるという現象が少しは緩和される。スタッフも大変なのでは…。

是非、フェリーだけでも今年これからでもブロックかけてほしいです。

事務局（座間味村）

この時点ではフェリーもあと何席残っているか把握できていないので、空き状況を確認して、申し込んでもらいます。

来年の部分に関しては、まだもう少し練る必要がありますので、持ち帰らせて頂きます。高速船は1便目が埋まってしまっているということですが、フェリーについては対応を即座に検討し皆様にご連絡したいと思います。ホームページでお知らせします。よろしいでしょうか。

（拍手）

納得いかない参加者の方々・・・。皆雑談に入る。

来年フェリー船が新造され大きくなるが、運航スケジュールは動かせない。それにフェリーで来たのでは間に合わない。

来年、臨時便を出してもらう。それぞれのチームの伴走船に乗ってくる。色々案はあるが、今ここでは決められないので、また意見交換会などで、話し合うことにしたらどうか。

ひとまず、今年はフェリーの空き状況を確認の上、FAXなどで申し込む方法をホームページでお知らせします。申込数を事務局で取りまとめ、席の確保をしたいと思います。

参加者

フェリーのこととかはここでは決められないので、意見交換会が当然だと思うのですが、昨年の意見交換会で持ち帰った事例の返答がない。

例えば、艇名の表示位置の件とか、自分は意見を文章にしてメイルで送ったが、

一切返答がなかった。前回の意見交換会で決定した内容など出てこないのはおかしくないか。

委員会

大体のことがらを反映していたと思っていましたが、ミスしましたか？

＊セイルエリアの問題

1枚の帆でも2枚の帆でも、足した面積が３,５ｍ×５ｍの中に入ればいい。

\*ゼッケンの件

以前、ゼッケンは船体ではなくて帆につけるのでしょうか？の問いがありましたが、外から確認できればいいという見解です。統一しましょう。

大抵場合、棒を立ててそれに上げて頂いていますが、いずれにしても解かりやすく展開して頂きたいです

＊引き波の件

他艇に迷惑。皆で気を付けましょう。場合によってはルールを作る方がよいのでは。来年に向けて、どうしたらよいか考えましょう。

\*参加者から意見を送ったが、返答がない。

確認の上、それについて答えてほしい。

＊メディアの件

其々のチームに直接ご取材の依頼があった場合、また取材をお受けになっている場合、こちら広報あるいは産業振興課、事務局にご一報いただけますか。

こちらでも把握しておきませんと、本番などで、混乱が生じたり、意思の疎通が取れなかったりと行き違いがないようにお願いします。

メディアボートの用意もありますので。

資料映像又は写真などの提供も出来ますし、メディアリリースの用意もありますし、色々ご協力も出来ます。そういったことで、間違った情報を発表されないようにもしたいと思います。メイルでも事務局にFAXでも、記録が残るものならどちらでも構いません。お知らせください。

ご協力お願いいたします。

拍手で閉会